

退職患者を連帯で包もう

おびえるCO患者たち

目立ち始めた、病状悪化

三川指導部十一分委(CO患者組合員の団結)の新聞「いのち」については、もう相当広く知られていますが、その百三十四号(五月二十日)は、いま緊急問題となっている病状再発・悪化した退職患者の救済について、次のような注目をすべき訴えをかかげている。これはただCO患者というばかりでなく、一般の人びとにとっても重大な警告となっている。あえてその全文を掲げ、参考に供しよう。

新聞「いのち」の訴え

しばしば訴えられますが、最近 状態が悪化が頻発。入院をよぎなくさなっている(、入院するにも費用が高くなり、とくに検査などがな

そのほとんどの方が、自己の健康保険でないため(国民健康保険)か、健康保険被保険者の扶養者になつて、入院はしたものの出費がかさみ、安心して入院・加療が

CO患者は停年になつても、ひとりでまともに生活できる身でないため、退職後の生活が苦しく、みなななか自分似合った職場を見つけないで、困窮しています。

三池大災害原告団では、さきの原告団総会で、さまざま具体的な活動の一つ、ブロック別地域交流会を実施したので、

九・二八坑内火災被災者九十九名が、ハビリーテーション中の運営期限が、五月で切れようとしている。一体どうなるのか。

現在入院中の患者に、もっと適切なハビリーテーションを考へてほしい。



万田作業所でノリミスなどを編む作業についているCO患者仲間たち。この作業とて思うようにいかず、手もとはくるいどうし。

CO患者は停年になつても、ひとりでまともに生活できる身でないため、退職後の生活が苦しく、みなななか自分似合った職場を見つけないで、困窮しています。

三池大災害原告団では、さきの原告団総会で、さまざま具体的な活動の一つ、ブロック別地域交流会を実施したので、

九・二八坑内火災被災者九十九名が、ハビリーテーション中の運営期限が、五月で切れようとしている。一体どうなるのか。

現在入院中の患者に、もっと適切なハビリーテーションを考へてほしい。

現在入院中の患者に、もっと適切なハビリーテーションを考へてほしい。

この頃、私は、どなたともわからない方から、二度にわたって多額のカンパが、CO・遺族を守る会事務局あてに送られてまいりました。同事務局の三池労組本部に勤務する者は、いたく感激しているところです。

封筒に押されている郵便局の消印を見ますと、「一ツが、熊本中央局、となっており、もう一ツは、(原告団)を愛読していた

つの方は「悪魔郵便局」とわかつていて、あなたと関係があるか、と尋ねました。察しますところ、無名のカンパかと思われ、

三池大災害裁判原告団は、ちろんのこと、三池労組の全組合員とその家族は、ひき続き団結を固めながら、この裁判闘争を、また本来の命と権利を守る反独占・反合理化の闘いをすすめてまいりますので、これからの

三池大災害被災者九十九名が、ハビリーテーション中の運営期限が、五月で切れようとしている。一体どうなるのか。

町ぐるみの闘いに……

原告団自身団結しなければ

交流会を終って

九・二八坑内火災被災者九十九名が、ハビリーテーション中の運営期限が、五月で切れようとしている。一体どうなるのか。

現在入院中の患者に、もっと適切なハビリーテーションを考へてほしい。

現在入院中の患者に、もっと適切なハビリーテーションを考へてほしい。

現在入院中の患者に、もっと適切なハビリーテーションを考へてほしい。

現在入院中の患者に、もっと適切なハビリーテーションを考へてほしい。

匿名の方から多額のカンパを二度も

心から感謝いたします

三池大災害被災者九十九名が、ハビリーテーション中の運営期限が、五月で切れようとしている。一体どうなるのか。

(この項永江記)